

特別職報酬等審議会の在り方は

月額報酬についての意見を伺う



鎌田 芳雄 議員

Q 条例・指針に基づき原則公開で議論すべき重要な会議をなぜ非公開で開催し、さらに報酬等

審議会が議員定数削減まで踏み込んだ意見書は当該条例の設置目的を逸脱してはいないか疑問だ。定数等の議論を妨げるものではないが公開で行うべきであり、審議会等在り方等を伺う。

とから、特別職等現状で良いのかどうか意見をお聞きした。市長、副市長、教育長については現行どおりとし、議員については議員定数削減までの間、減額すべきとの内容であった。非公開については審議会委員の判断によるものである。また、審議

会の内容が越権行為ではないかとの指摘については言及しかねる。

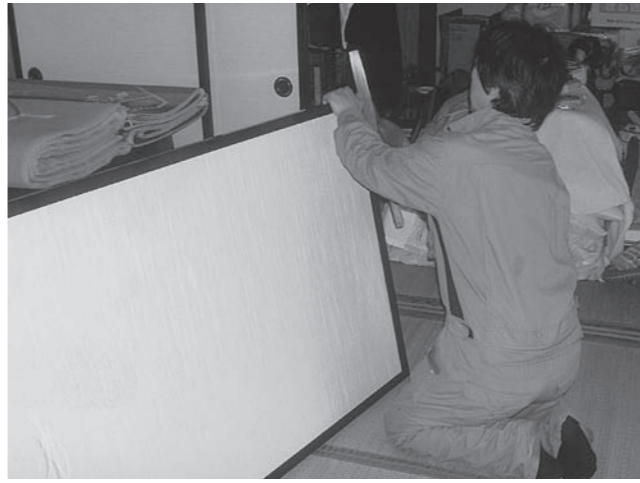
橋守制度の周知は

Q 市内の橋梁をボランティアに点検してもらう制度の周知と、子どもたちに橋の重要性と「愛橋心」を持ってもらうための教育をすべきと考えるがどうか。

A (建設部長) 橋守制度については、小中学校の総合学習の授業などの活用に努めていく。



ボランティアに守られる市内の橋梁



地域経済活性化が期待される住宅リフォーム事業

住宅リフォーム助成制度内容は

20万円以上の工事に10万円助成



照井 明子 議員

Q 地域経済活性化として各地で実施されている住宅リフォーム助成制度の創設について伺う。

A (市長) 補助総額は3億円で、助成額は工事金額20万円以上に対し10万円。これは、地域振興券で給付することを考えている。期間は、平成23年4月1日から3月31日までに申請があったもので、工事の明細書や見積書、写真等で簡単に申請できる

よう考えている。また、申請内容が若干変わった場合でも、変更の申請で対応する。

35人学級の拡充を

Q 本市では、現在35人学級を小学校1・2年生、中学校1年生で実施している学校もあるが、平成

23年度からの小学校1年生の国実施に伴い、さらに小学校3・4年生、中学校2年生への拡充の声が高まっているがどうか。

A (教育長) 現在、実施している35人学級の対象学年は、小学校1・2年生と中学校1年生となっている。中学校1年生での実施については、学校の主体的な判断を尊重して進めてきたところである。35人学級の拡充については、国の制度の改善を待たなければならない。

除雪要望と雪害被害への対応は

豪雪による被害は5500万円



藤井 幸介 議員

Q 除雪に関する意見・要望は何件あったか。また、最も多かった要望は何か。それらに対して市

はどう対応したか。雪害による人的・物的被害の状況についても伺う。

A (市長) 豪雪による倒木や農業施設の倒壊、停電などの被害が発生した。内訳は倒木が64件、農業施設倒壊が53件、東和の有線放送ケーブル断線が160件。雪おろしなど

で救急搬送された方で重傷者3人、軽傷者2人となっている。

女性特有のがん対策

Q 子宮頸がん等ワクチン接種の実施スケジュールはどうなっているのか。また、子宮頸がんの原因は接触感染であることか

ら、家庭や学校での子どもたちへの保健指導が大切だと思うがその在り方について伺う。



ワクチン接種でがん対策(子宮頸がん予防リーフレット)

水道広域化の進ちよく状況は

22年度中に基本構想を策定



櫻井 肇 議員

Q 岩手中部広域水道化計画の進ちよく状況および各自自治体の負担見込み額について伺う。また、東

和中内浄水場水源の鉄分過多、大迫堅沢水源のククリプトスポリジウム汚染の恐れのある指標菌検出への対策を伺う。

A (上下水道部長) 平成26年度の統合を目指して23年度内の基本構想策定を予定している。現時点での本市の新規の出資金

は、約39億円と試算されている。中内浄水場は、水質基準以下に処理して安全な水を供給している。堅沢水源は厚生労働省のマニュアルに沿って、ククリプトスポリジウムを死滅させる紫外線処理施設設置に向け、県と協議を進めている。

県立高校の存続は

Q 第2次県立高等学校整備計画について、県立花巻農業高校、大迫高校の存続を県に求めるべきと考えるがどうか。

A (教育長) 県教育委員会では、平成23年度、第1四半期中に第2次県立高等学校整備計画案を提示し、意見を伺うとしていくので、それを待って論じていきたい。



本年度中には示される第二次県立高等学校整備計画